

「第14回小売業不明ロス・店舗セキュリティ実態調査分析報告書」から 見えてくる万引対策

はじめに

2006年からほぼ毎年行ってきた「全国小売業不明ロス・店舗セキュリティ実態調査」は2021年度第13回以降3年に1度の調査にすることにし、今回第14回の調査を実施いたしました。

今回、各小売業団体11団体にご協力を頂き1,069社を対象に、前回よりもさらに調査項目を大幅に減らしてポイントを絞って実施いたしました。

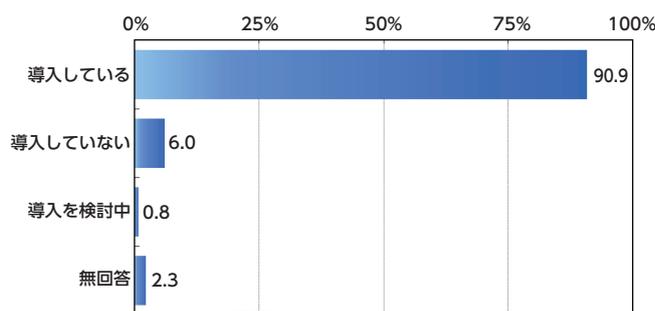
アンケートの回答は265社(回答率24.8%)、回答企業は前回より若干上回りました。調査結果から小売業現場の実態を反映した各種データをはじめ、小売業各業界の万引防止対策の問題点に対策のヒントを垣間見えることができるかと存じます。

今回は「分析報告書」をご理解いただくためにエキスを抽出して解説を加えましたので、各業界の皆様には万引防止対策を効果的に推進するための資料としてご活用いただければ幸いです。(注)調査した内容は2024年の実態になります。

問2 業態別分布 回答265社の内訳

1	スーパー	99社	10	その他専門店	4社	19	総合ディスカウント	0社
2	書籍・文具	53社	11	酒類	2社	20	紳士服	0社
3	百貨店	37社	12	時計・めがね	2社	21	靴	0社
4	ドラッグストア	28社	13	価格均一ショップ(100円ショップ等)	2社	22	家電製品	0社
5	楽器・CD・レンタル	8社	14	服飾・服飾雑貨	1社	23	家具	0社
6	ホームセンター・カー用品	7社	15	生鮮	1社	24	スポーツ用品	0社
7	コンビニ・ミニスーパー	7社	16	生活協同組合	1社	25	カメラ	0社
8	婦人服・子供服	5社	17	呉服	1社	26	カジュアル衣料	0社
9	玩具・ホビー用品	4社	18	宝飾品	0社			

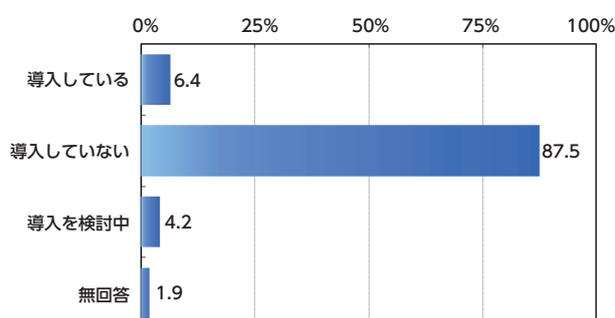
問3—1 店舗への防犯カメラの導入状況



※「問13万引窃盗対策で効果がでたこと」記述回答で防犯カメラの設置、増設の回答が一番多かった。

※第12回(2018年)の防犯カメラ(店外)設置は、47.9%であった。

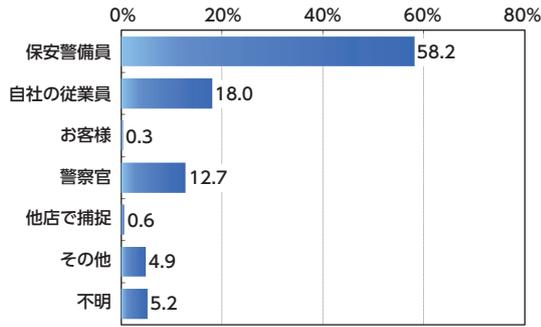
問3—2 店舗への顔認証カメラの導入状況



※犯人が映っている画像は「個人情報保護法」及び関係法令に従う必要がある。

問4—2

万引窃盗犯を捕捉した者の内訳

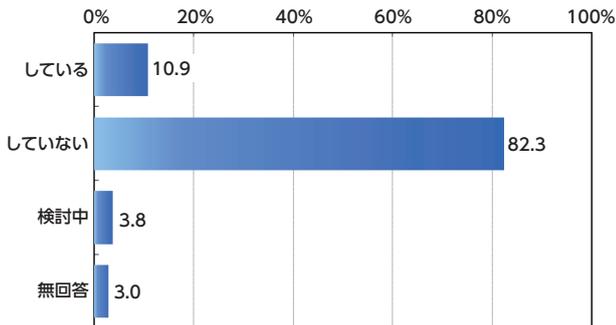


【その他内訳】

- 犯人が警備員だった為、会社へ連絡。
- 自首
- 本人の親からの申し出
- 保安担当、警備、警察と協力して捕捉。

問6

万引窃盗犯を確保した際の当人への損害賠償請求の有無(捕捉にかかった費用)



請求状況の推移

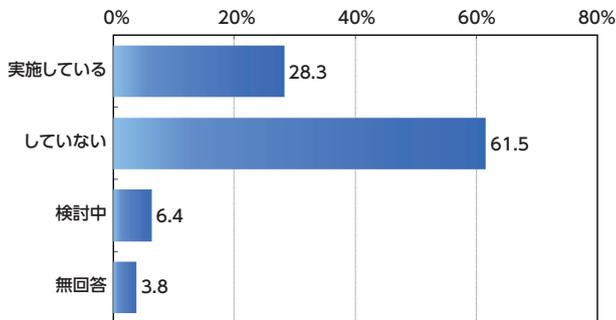
	している	していない
2016年	4.5%	74.7%
2018年	5.1%	79.3%
2021年	7.9%	85.4%
2024年	10.9% ↑	61.5%



損害賠償請求パンフレット

問7

万引窃盗犯の「店内確保」の実施状況



「店内確保」状況

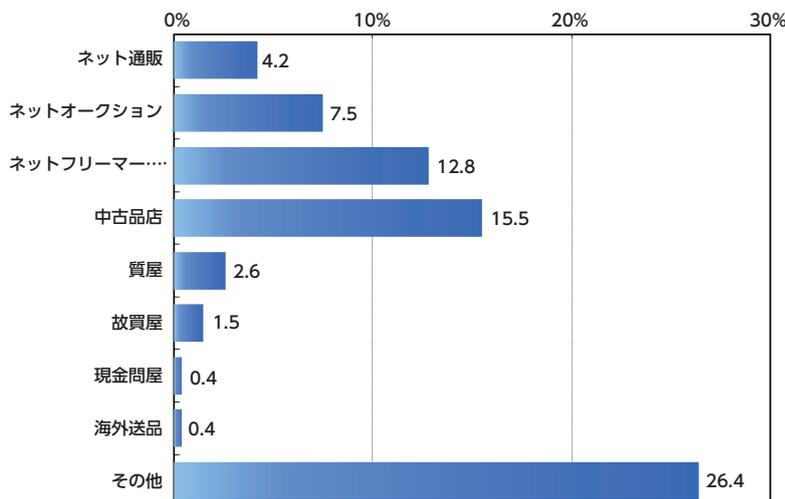
2016年	22.7%
2018年	27.2%
2021年	37.4%
2024年	28.3%

【ご参照】全国中学校に掲示する「壁新聞」(規範意識の向上策)の効果～「隠したら店を出ずとも窃盗犯」のフレーズをアピール～



問8—1

万引窃盗された商品の処分先として判明している換金先

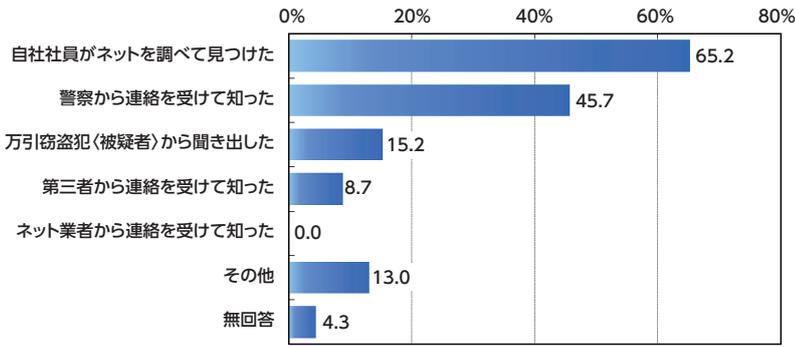


※インターネット(上段3項目)…計24.5%
リアル(中段5項目)……………計20.4%
の比較表

※リアル20.4%に対してインターネット計24.5%となり、ネット主流になっている。インターネット上での盗品換金防止対策が急務となる。

問8—3

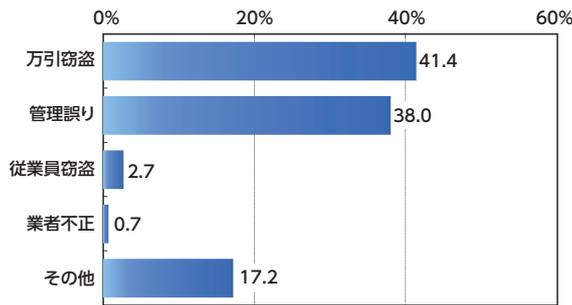
万引窃盗被害品が出品されたことを知った経緯



※万引された被害品を自助努力で探すことは労力がかかることであるが、ロスの把握や犯人特定に通じ、警察の犯罪捜査にも貢献できる。

問10

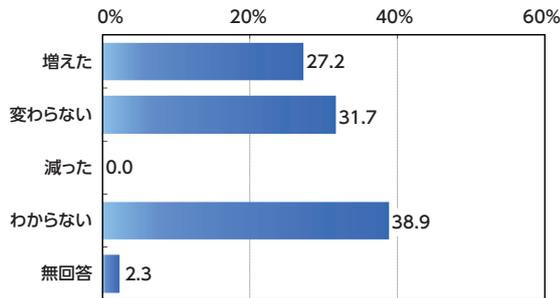
直近の年間不明ロス金額の原因別推定割合



※不明ロス金額の窃盗(万引窃盗、従業員窃盗)による割合は半数近い44.1%となっている。万引対策を強化することにより万引被害を軽減することは収益改善となる。

問11

レジ袋の有料化によるマイバッグ利用増加に伴う万引被害

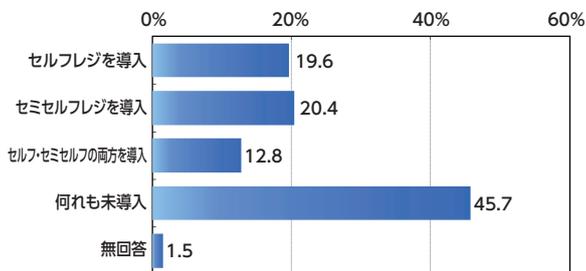


※「被害が増えた」が前回(第13回)から増加した。

マイバッグ使用マナーポスター

問12—1

セルフレジの導入状況

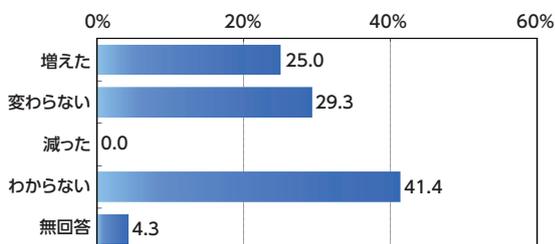


前回との比較表	2021年	2024年
セルフ導入	10.6%	19.6%
セミセルフレジ	21.7%	20.4%
セルフレジ・セミセルフレジ両方を導入	7.1%	12.8%
どちらも未導入	57.9%	45.7%

※セルフレジの導入店舗は増えている状況にあり、万引被害状況も増加傾向にある

問12—2

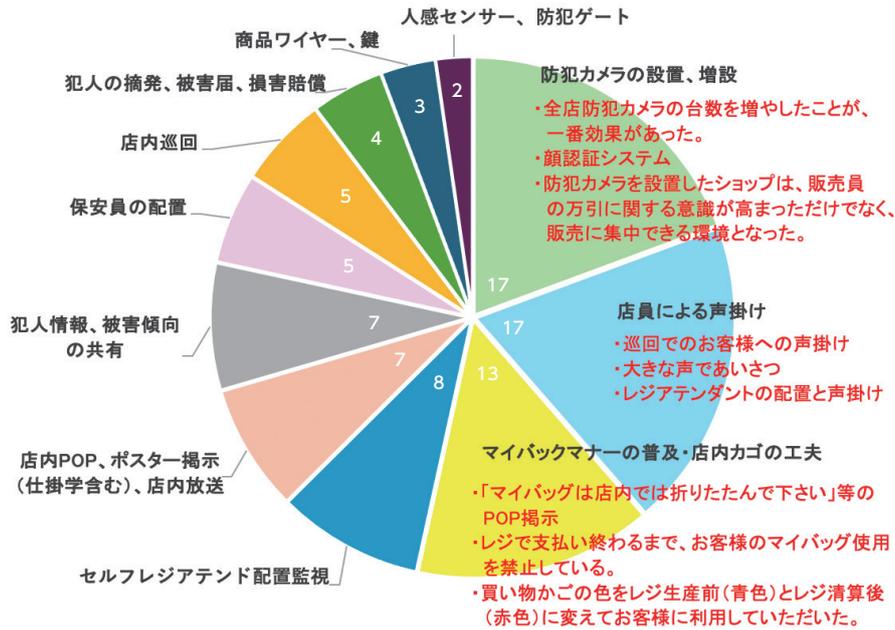
セルフレジ導入による万引は被害の増減



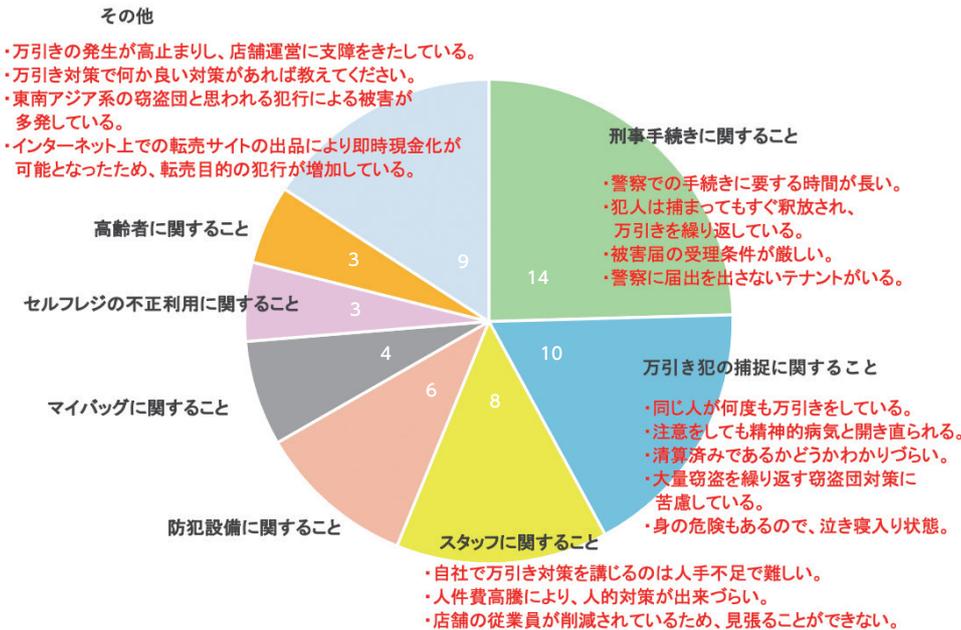
【問13項の記述解答から】

- アテンダントを配置し、セルフレジの補助、案内を行いつつ万引防止にあたる
- セカンドモニターを配置し、商品登録操作等の手元映像およびレジの商品登録点数をリアルタイムで表示する機能の導入

問13「万引窃盗対策で効果が出たこと」の項目
(複数回答60件(92項目))



問14「万引きで困っていること」の項目
複数回答57項目



問14「万引対策の提言」の項目
複数回答35項目

- 自分たちでの捕捉、警察との連携、民事的な損害賠償等をマニュアル化する。
- 店内巡回と声かけを徹底し万引窃盗をさせない環境を創る。
- 万引被害金額より、その万引行為に対応するコストの方がはるかにかかるので、抑止効果を生む施策が必要。
- 万引きは「窃盗犯だ」という広報をもっと増やしてほしい。



▶本資料で紹介した冊子、ポスター等をご希望の方は、ご相談ください。

特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-2 書店会館4階 TEL. 03-5244-5612 FAX. 03-5244-5613

E-mail : info8@manboukikou.jp https://www.manboukikou.jp